

HAKUOH JHS NEWS

白鷗大学足利中学校新聞 -vol.104-



発行所 / 白鷗大学足利中学校新聞委員会 足利市伊勢南町4-3 TEL.0284-42-1131

かけがえのない宝物
3年2組 悦永 悠

期待や不安な思いを抱えて迎えた入学式から約3年。私はたくさん思い出を作ることができた。打ち上げ花火を見てはしゃいだ林間学校。初めての海外に胸を躍らせたオーストラリアの研修旅行。必死にピアノを練習し、みんなでハーモニイを奏でた合唱祭。毎日の楽しみだった部活動。どれも大切な宝物だ。

私が特に思い出に残っているのは、生徒会活動だ。生徒会長として日々、責任感に追われ、大変な

ことも多くあった。しかし、仲間と一生懸命に行事を計画し、成功すること

これらのおかげで、思い出を作ることができたのは、いつも明るく嬉しく、達成感を味わえた。



充実した3年間
3年2組 姜 瑠璃

3年間、思い出すとたくさんのことがあった。楽しいことも悲しいことも嬉しいことも辛いことも、色々な経験をした。その中でも一番自分を成長させたのは、バスケットボール部での活動だと思う。

入部した当初は、そもそも運動が苦手な最初のランニングでは力が尽き、

出会い
3年1組 國井 すずね

これからのようなことが起きるのか、新しい友達ができるのか、授業についていけるのか、様々な不安を抱えていた入学前。しかし、このような不安は、多くの人の出会いで消えていったのだ。

入学してすぐの教室は、椅子を動かす音が鳴り響くぐらい静かだったが、

思い出に溢れた3年間
3年1組 齋藤 蓮

僕は、この白鷗中で数えきれないほどの思い出ができた。クラスメイトと歌声を合わせる楽しさを知った合唱祭。同じ組の仲間たちと一致団結した体育祭。志賀高原の雄大な自然の豊かさや友達との



白鷗中での思い出
3年2組 大淵 匠

白鷗中で過ごした日々は、成長できたと実感するほど私にとって大切なものとなった。新しい友達との出会いはもちろん、学校行事では様々な経験を積むことができた。

特に印象に残っていることは、まず、体育祭の準備である。組の仲間たちと一緒にアイデアを出し合い、練習を重ねることで、絆が深まるのを感じられて、非常に嬉しかった。体育祭当日、緊張しながらグラウンドに立ったが、仲間たちの顔を見た瞬間、自分も頑張ろうと前向きな気持ちになった。それでも鮮明に思い出すことができる。

それから、合唱祭でクラスメイトと朝や放課後に練習したことも思い浮かぶ。練習は大変だったが、時には逃げたくない気持ちもあつた。だが、

安があつたが、今ではたくさんの友達を作ることができた。周りがいつも賑やかで、毎日が楽しくて、些細なことでも盛り上がる日常も今となっては、かけがえのない思い出の一つになった。部活動では、野球部とサッカー部で礼儀やコミュニケーションの大切さを学んだ。優しい先輩や個性豊かな後輩たちに囲まれ、本当に楽しかった。中学校での思い出は、僕にとっても大切な宝物であり、この先も忘れることはないだろう。

本番では練習以上に声を響かせることができ、総合優秀賞に選ばれた時は、逃げずに練習に取り組んでよかったと思えたのだ。

そして、思春期ならではの悩みや葛藤も時には抱えることもあつた。しかし、自分自身を見つめ直す機会となり、乗り越えられた。それは、先生方の温かいサポートや友人の励ましがあつたからこそである。感謝の気持ちでいっぱいだ。

白鷗中での思い出を胸に刻み、高校でも全力で突き進んでいきたい。



卒業おめでとう!

巣立つ43名の未来に輝かしい光あれ!!



先輩の力強いボールを受けた時は突き指しかけた。更に、ボールは変な所に飛んでいき、ゴールには届かないシュート。何もかもがボロボロだった。しかし、顧問の小平先生のご指導や先輩からのアドバイスのおかげで上達することができた。また、それだけではなく、部長として部員をまとめることで、リーダーシップを身につけることができた。周りを見る力も養えたと思う。この3年間、想像していたよりも身長は伸びなかつたが、たくさんの人のおかげで人として成長することができた。

一生、心に残るような思い出をありがとうございます!



今では話し声や笑い声が絶えなくなつた。そのような教室で共に学び、協力し合ったクラスのみんなと出会えたことが一番の宝物だ。辛いときに互いに励ましたり、相談したり、ふざけたり毎日の何気ないことが全て大切な思い出となつた。また、行事を通して新しい経験や知識が増えたこと、個性豊かな先生に出会えたことも私にとって、かけがえのない財産になつた。

この原稿に収まらないほど、たくさんのお出合いがあつた。白鷗中での出合いを今後、糧にして、自分の道を切り開いていきたい。最後に、楽しい

意外な一面を知ることができた林間学校。異国の文化や言葉に触れ、地元の人々と交流を深められた。

たオーストラリアの海外研修。その他にもたくさんのお出合いがあつた。入学した当初は、友達ができるのだろうかと思



安があつたが、今ではたくさんの友達を作ることができた。周りがいつも賑やかで、毎日が楽しくて、些細なことでも盛り上がる日常も今となっては、かけがえのない思い出の一つになった。部活動では、野球部とサッカー部で礼儀やコミュニケーションの大切さを学んだ。優しい先輩や個性豊かな後輩たちに囲まれ、本当に楽しかった。中学校での思い出は、僕にとっても大切な宝物であり、この先も忘れることはないだろう。

本番では練習以上に声を響かせることができ、総合優秀賞に選ばれた時は、逃げずに練習に取り組んでよかったと思えたのだ。

そして、思春期ならではの悩みや葛藤も時には抱えることもあつた。しかし、自分自身を見つめ直す機会となり、乗り越えられた。それは、先生方の温かいサポートや友人の励ましがあつたからこそである。感謝の気持ちでいっぱいだ。

白鷗中での思い出を胸に刻み、高校でも全力で突き進んでいきたい。

はなむけの言葉あれこれ

校長 高久 哲史



1月半ば、明治神宮の社殿回廊に展示された全国少年新春書道展の見事な筆さばきに圧倒されながら、中でも熱量あふれる中学生の書「青雲の志」に目が留まりました。思えば、十代の頃、何かの文集に書いた言葉が、当時背伸びして見つけた「青雲の志」でした。

努力を諦めない、馬鹿にしない

教頭 新井 重利



安は拭い切れず、強くなくている確信が持てなかつたことだが、その努力が報われた大会であった。

柔道家である阿部一二三選手は、昨年のパリ五輪・柔道男子66キロ級で金メダルを獲得し、東京五輪からの連覇を達成した。決勝戦後、正座して深々と一礼してから畳を下りるその所作は、とても美しかった。

一二三選手は練習熱心なことでも有名で、中学3年生の時には1日6時間(ランニング2時間、立ち技2時間、寝技2時間)の練習に毎日取り組んでいたという。表彰式後のインタビューで自身の座右の銘である「努力は天才を超える」という言葉を紹介した。東京五輪後には、いくら練習しても不

から独立した旋律を奏することで、全体として美しい音楽。みんなが生かされたい。みなさんそれぞれに、思い思いの旋律を奏してください。

感受性豊かな十代(中学、高校、大学)は、人生が動き出す動機付けのときです。事、人、社会、自分を凝視すれば、発見あり、感動あり、さまざま

校長 高久 哲史

「我々はどこから来たのか。我々は何者なのか。我々はどこへ行くのか」

「我が上なる星空と我が内なる道徳律」、夜空を見上げ、カントを少し読んでみましょう。崇高で普遍的な宇宙と、倫理的考察と実践を委ねられた自分。大きな安心に願っています。

変わらない大切なもの

教務主任 金井 弘枝



「我が上なる星空と我が内なる道徳律」、夜空を見上げ、カントを少し読んでみましょう。崇高で普遍的な宇宙と、倫理的考察と実践を委ねられた自分。大きな安心に願っています。

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在学中、白鷗中には多くの変化がありました。最大の変化は校舎移転です。生活面ではタブレットが導入され、学習や家庭との連絡に活用。それに伴い、フルクラウドを利用し、出席や成績の管理を行うようになりました。行事では、新型コロナウイルス感染症上の位置づけが「五類」に移行し、海外研修旅行を再開しました。生徒会で

包まれながら、自分の進むべき方向を探し出しましょう。

行動力に自信を 3学年主任 田中 淳史

卒業おめでとう。早いもので白鷗中へ入学してから3年が経ちます。義務教育も終わり、4月からは高校へ進学することになります。期待と不安でいっぱいの方もいることでしょう。しかし、高校では自信をもって取り組んでください。白鷗中で3年間学んだことに自信を持ってください。学習面はもちろんですが、学校行事などでもみんな自身が企画をし、運営をしてきました。みんなに行動力があります。その行動力を高校でも是非発揮してください。充実

辛いときこそ、もう一歩!! 3年1組担任 赤石 緑

ご卒業おめでとうございます。若いみんなに助けてもらうことの方が多かった2年間であつたという間でした。これから歩む人生には、幾度となく高い壁にぶちあたることがあるかもしれません。ある事故で首から下の自由が奪われ、口に筆をくわえて詩画を描く星野富弘さんの作品に「辛い」という字がある。もう少しで幸せになれるような字である。「辛」という一節があります。「辛」に「一」を足すと「幸」になります。私はこれを「辛い時にもう少し、もう一歩頑張れば幸せになれる。」と受け止め、「辛い時こそ!!」と自分に言い聞かせ、乗り越える努力をしています。みんなも辛いことがあつた時は、この言葉を思い出してみてください。ずっと応援しています。

未来へススメ! 3年2組担任 青木 瞳

長いようであつたという間だつた3年間。振り返ると怒つたこと、注意したこと、怒つたこと...たくさん怒られてきましたね。怒られすぎたり、上手くいかないことが多かったりしましたね。で

も、みんなには困った人を放っておけない優しい気持ち、とつてもポジティブな心があります。その優しさやポジティブさがあれば、この先どんな困難が立ち向かってきてもきつと乗り越えられます。一人では難しいときは、きつと愉快な仲間達が支えてくれるから大丈夫。みんなの明るさで暗闇を照らし、まっすぐ未来へススメ!!

勉強して社会に貢献できる人間を目指そう 3学年副担任 滝沢 悟

卒業おめでとう。人工血液の話しよう。救急車で輸送中の患者は、医者がいないから輸血ができなかったり、病院に着いてからも血液型が判明するまで2時間かかったりと、輸血には様々な問題がある。もし、人工的に合成した物質で赤血球の代用ができれば、どれほど便利だろうか。これを可能にしたのが、中央大学の小松教授である。小松教授が作った人工酸素運搬体「ヘモアクト」は、血液型の違いによる不適合を起こさずにどんな血液型にも使える人工血液である。これは輸血革命である。これを使えば様々な問題が解決されるため、ヘモアクトの臨床試験が終わることを心待ちにしている。卒業生の諸君も社会に貢献できる人間を目指そう。

卒業おめでとう。人生の中で恐らく最も多感な時期、その3年間を一緒に過ごせたことを光栄に思います。大空へ羽ばたこうとする皆さんの行く手が幸多きことをお祈りします。

はなむけの言葉 飯野 誠子

卒業おめでとう。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

卒業おめでとう。あつという間ですね。入學式を昨日のことのように思い出します。白鷗中でそうしてきたように、これからも「今」を大事に過ごしてください。応援しています。

仲間との友情を培った 部活動の思い出



バスケットボール部

部活動を通して

3年2組 福留 秀幸

先輩が引退し、「これからはお前が部長だ。」



と言われた時、僕は嬉しくてたまらなかった。しかし、実際に部長になって、指示を出しながら練習をしていると「こんな僕でいいのか？」と不安になった。

中学校に入るまで、バスケットボールに触ったことすらなかった僕は、先輩よりも下手だった。試合で上手にシュートを決める後輩たちの姿を見る度に、すごいなと思いつつも、自信がなくなることがよくあった。

そのような時に頭に浮かんだのは、先輩たちの姿だった。先輩たちは、「上手くなるためには練習するしかない。」と言っていた。だから、仲間から信頼されるような部



長になるために一生懸命練習に取り組んだ。練習は苦しい時もあった。だが、少しずつ上達していることを実感できた時は、苦しさを忘れるほどの充実感も得られた。

僕にバスケットボール

サッカー部

最後の県大会

3年1組 野口 啓心

サッカー部で過ごした日々は、青春となった。初めての練習に参加した時のことは、よく覚えている。これから大好きなサッカーがたくさんできるという期待、そして上手くプレーすることができるとか緊張や不安があった。だが、先輩たちが優しく声をかけてくれたため、僕は心置きなく練習することができた。

これまでたくさんの壁に立ち向かうことがあつ



た。その度に仲間と共に乗り越えたことは、どれも大切な思い出となった。その中でも、最後の県大会に出られたことが一番の思い出だ。なぜなら僕は、地区大会では怪我で

あまり試合に出られなかったからだ。地区大会で優勝した時、嬉しい気持ちもあつたが、早く怪我を治してチームに貢献したいという気持ちが強くなった。そして、県大会に出場時に、怪我が治り復帰することができた。

PK戦まで持ち越した初戦。残念ながら負けしてしまった。あまりにも悔しかった。だが、仲間が支えてくれ、僕は前を向くことができたのだ。この経験は僕を強く、大きくさせた。この仲間たちと戦えたことは絶対に忘れない。今までもありがとう。

を一から教えてくださった顧問の小平先生、頼りない僕を支えてくれた仲間たち。そして、いつもそばにいて励まし続けてくれた両親。心から「ありがとう」と伝えたい。

科学部

ありがとう科学部

3年1組 高瀬 勝規

僕は小学生の頃から長い間、科学部に入学したと思つていて、科学部があるから白鷗中に入学したと言つても過言ではない。



早速、科学部の仮入部に行つてみると、先輩たちが真剣に実験している姿に憧れを持ち、入部することを決めた。科学部では1月にある展覧会に向けて班別研究をし、部員全員で協力し合い、顧問である宮田先生の指導の下、最優秀賞を取るこ

ユニア甲子園という理科に関する筆記試験と実技の点数で競う大会にも出場した。出題された問題はどれも難しかったが、部員一人ひとりが得意分野に分かれて問題を解くことによつて、科学部初の最優秀賞を取ることができた。本当に嬉しかった。

これらの科学部での経験は、中学校で一番の思い出となった。僕が卒業した後も、先輩たちには活気ある科学部を受け継いでほしい。そして、更なる活躍を心から願っている。

私は、文芸部に入学して本当に良かったと思つている。小さい頃から絵を描くのが好きだ。だから、部活では部員と題を決めたり、共同で絵を描いたり、和気藹々と活動ができるこの文芸部の時間がとても好きだった。

文芸部

良き仲間

3年1組 阿彌 花音

2年生の時、足利市立美術館の展示会を見に行つた。初めて部員のみんなで学校の外に行けたことは、本当に嬉しかった。また、普段、目にするのがない芸術作品を見られて、よい学びとなった。

ある時には、部活動の話し合い活動で「体力をつけよう」という意見が出た。体育会系文芸部になるかとハラハラしたこともあつた。結局、体育会系になるどころか、2年生の夏休みには、ジ

続けたことも今となっては、いい思い出だ。作品を作り上げる中で大変なこともあつた。しかし、この3年間、聖母



マリア様のように優しい宮谷先生、部員みんなと過ごした日々は私にとってかけがえのない中学校生活の1ページとなった。みんなに感謝している。

バレーボール同好会

バレー同好会での思い出

3年2組 松崎 莉子

私がバレーボール同好会で思い出に残っていることは二つある。一つ目は、旧校舎での練習のことだ。旧校舎では、小さなコートでしか練習できないため、よくバスケットボール部のコートにボールが入り、仲間とともに謝りに行つて

いた。とても申し訳ない気持ちもあつたが、他のコートに入るくらいはスライクコースの下手さに思わず笑うことがあつた。今となっては、そのような時間がかけがえのない

日本伝統文化同好会

日伝最高

3年1組 吉田 浩太郎

私が会長を務めた時、会員の人数がとても少なかった。そのため、自分たちができることは限られていたが、そのような中でも工夫を凝らしながら活動することができたと思う。

競技かるたは、ルールが難しかったり、覚えるものが多かったりするため、興味を持つ人が非常に少ない。だが、この同好会に入ってくれた以上、後輩たちに興味を持ってもらえるようにしたいと考えていた。だから、百人一首の現代語訳を易しい言葉で伝えたり、時には縦割りチームを作つて戦ったりした。次第に後輩たちは、かるたに興味を持つてくれたのだ。

大切な思い出となった。二つ目は、3年生になり、自分が会長として下級生にバレーを教えたことだ。入部した下級生のほとんどが、バレーボール初心者だった。私自身、人に教えるのがあまり得意ではないため、どのようにして教えたらいいのかと悩み、壁に当たるところもあつた。時には下級生とすれ違うこともあつた。だが、全員が一生懸命に取り組んでくれたのだ。頼りない私についてきてくれたことが何より嬉しかった。

和気藹々と活動することができ、楽しい思い出を作れたのは、仲間や顧問の先生のおかげである。

将棋では、学年の枠を超えて、戦法を考えた。仲間たちが、自分の予想しない手を指して、驚かされることもあつた。

実は日本伝統文化同好会は、私の姉が作った同好会なのだ。だから、自分が会長を務め、この同好会を続けられたことは、本当に嬉しかった。競技かるたや将棋等の面白さを、次の後輩たちに伝えていってほしいと心から願う。



冬休みに入り、2泊3日間でスキー教室が志賀高原で行われた。出発する前、家でニュースを見たら、今年は例年よりも積雪量が多いということを知り、とてもワクワクした。

到着すると想像を超える量の雪が積もり、辺り一面が真っ白で、その景色に感動した。雪を触ってみると、ふかふかして

スキーの思い出 1年1組 岡村 陽哉

いた。地元では味わうことができない感覚に胸が高まった。

久しぶりのスキーだったため、初めは思うように滑ることができなかつた。転びそうになることが多かったが、インストラクターが優しくコツを教えてくれたため、楽しく滑れるようになった。

また、多くの場所でも練習をし、最後には山の頂上や少し急な斜面も滑れるようになって、嬉しかった。それから、ホテルでは、友達と部屋の中でカードゲームをしたり、話をしたりして、一緒に盛り上がったのも良い思い出となった。



この3日間でスキーの滑り方を学び、自分の成長を感じることができた。また、友達との仲が深まったのも嬉しかった。スキー教室で得たことを生かしつつ、学校生活をより良いものにしていきたい。

スキー教室に参加して 1年2組 安川 美優

私はスキー教室で多くのことを学びながら、とても楽しむことができた。

スキー教室当日は、雪が多く降り、とても恵まれた環境でスキーをすることができた。初心者だった私はスキーについての知識がなく、不安だった。初めはたくさん転んでしまったが、インストラクターの方が丁寧に教えてくれたため、徐々に滑れるようになった。そして、見渡す限りの銀世界を友達と滑るといふ貴重な体験をすることができたのだ。また、友達との絆も今まで以上に深まり、喜びを感じた。

このような楽しくて、素晴らしい思い出を作ることができたのは、多くの人の支えがあったからだ。参加させてくれた両親、引率してくれた学校の先生、旅行会社の方等、今回のスキー教室に関わってくれた全ての人に、とても感謝している。

この冬、白鷗中で忘れられない素敵な思い出がまた一つ増えた。これからも多くの思い出を作っていきたい。



私が古生物学者になることができたなら、フィールドワークで化石を発掘したり、新種の古生物の研究に携わったりしたい。古生物学者として活動する中で、世界各地に渡り、様々な経験を積みながら、かつて古生物が地球に存在していたことを多くの人に知ってもらいたい。できたらいと思っ

3年間の歩み

初々しさあふれる表情だった1年生は、3年間で頼もしく成長しました。

学び舎の
新校舎
(2024年4月)



3年1組 入学式にて(2022年)



3年1組 体育祭にて(2024年)

～仲間と学んだ日々～



3年2組 体育祭にて(2024年)



3年2組 入学式にて(2022年)

将来の夢 映画を作る私だけの

2年1組 永井 伶

私の将来の夢は、人の心を揺さぶるような映画を多くの人に広めることだ。

その理由は、私は幼い頃から映画が好きだからだ。母の話によると、2歳の時から映画を観ていたらしい。では、なぜ映画が好きかというと、たった2時間程度で、これまでの考え方や物の見方が変わるからだ。映画館に入る前と出た後では、今までの何気ない景色が彩られたように感じ、世界が違って見える。だから、私は映画が大好きだ。そして、たくさんの映画を観るうちに、私も観ている人の心を揺さぶるような映画を作りたい、映画に携わることができるようになった。映画に携わる職業は多くあるが、その中でも、映画を世の中に広める職業に就きたい。

と思った。最近、映画を映画館で観る人が少なくなってきたので、「映画離れ」という言葉があるほど、映画の人氣が少なくなってきた。それは、SNSの普及やインターネットの利用時間が長くなっていることが原因に挙げられるだろう。しかし、私は多くの人がたが一生懸命に作ったよい映画を広め、一人でも多くの人を楽しませ、そ



して心を豊かにしたいのだ。私は「誰よりも得意」というものはない。特別なこともできるわけではない。だが、誰よりも映画を愛することを貫き通す人でありたい。「映画バカ」と言われてもいい。才能がなくとも、夢を叶えられると信じて、自分の道を進んでいきたい。

将来の夢 化石に夢を見る

2年1組 林 留生

私の将来の夢は、古生物学者になることだ。古生物学者というのは、太古の地球に生息していた生物の進化や絶滅、生きていた環境を説明する等、古生物学について追究する職業だ。古生物学には、動物を対象とする古動物学、植物を対象とする古植物学、微化石を対象とする微古生物学等がある。その中でも私は、古生代の三葉虫や中生代の恐竜、新生代のナウマンゾウ等、有史以前の地質時代の動物、古動物に関心があり、調査をしたいと考えている。

私が古生物学者を目指す理由は、古生物が好きだからだ。私が初めて古生物というものを知ったのは、幼い私にとって、非常に魅力的に見えたのだ。更に古生物について知りたいと思った私は、祖父母の家の近くにある博物館に足繁く通うようになり、将来は古生物に関する仕事をしたいと考えるようになった。

を愛することを貫き通す人でありたい。「映画バカ」と言われてもいい。才能がなくとも、夢を叶えられると信じて、自分の道を進んでいきたい。

生物というものを知ったのは、ほんやりとしか覚えていないが、3歳頃だったと思う。以前、住んでいたアパートの隣に住んでいる人から古生物の図鑑をもらった。その図鑑がきっかけで、私は古生物に興味を持つようになった。大昔には、この地球には自分よりも何倍も大きな生物が多く存在していたという事実は、幼い私にとっても、非常に魅力的に見えたのだ。更に古生物について知りたいと思った私は、祖父母の家の近くにある博物館に足繁く通うようになり、将来は古生物に関する仕事をしたいと考えるようになった。



英語力を必要とする場面が多い職業である。しかし、私は5教科の中で最も英語が苦手だ。文法や長文の理解や単語の暗記は、難しく感じる。しかし、英語検定に挑戦したり、定期試験で高得点が取れるように学習に取り組んだりして、自分のできることを着実にやっていく。英語力を高めていきたい。私が古生物学者になることができたなら、フィールドワークで化石を発掘したり、新種の古生物の研究に携わったりしたい。古生物学者として活動する中で、世界各地に渡り、様々な経験を積みながら、かつて古生物が地球に存在していたことを多くの人に知ってもらいたい。できたらいと思っ

